



炭素繊維、保温性高める

大木工藝が開発
医療素材狙う

素材開発の大木工藝
(大津市、大木武彦社長)
は従来と比べ数十倍の炭
素を含む高密度の炭素纖
維を開発した。遠赤外線
を大量に放射し保温性が

大木工藝が新しい炭素素材を使って製作した保温ジャ
ケットや寝袋のモデル製品

高いのが特徴。低体温症
の予防など医療用の素材
への採用を目指し、京都
府立医科大学と臨床デー
タの収集を始めた。スポ
ーツ衣料向けの用途も見

込む。
セ氏800〜1800
度で焼成した炭素の粒を
射出し、綿菓子を作るよ
うに集めてシート状に成
型。シートを綿や合成纖
維とより合わせた糸を織
り、衣類などの製品にす
る。炭素の粒同士がつか
がった構造のため熱の吸
収が早く、繊維全体から
遠赤外線を放射するとい
う。
シートの価格は1平方
が1000〜8000
円。保温ジャケットや寝
袋といったモデル商品を
すでに製作しており、医
療やスポーツ、アウトド
アなど用途別に企業を
決めて独占的に販売す
る。